



石本藤雄《ファブリック「風景」》(部分)オリジナルデザイン1982年、スコープ蔵

特別展

フィンランドのライフスタイル

—暮らしを豊かにするデザイン—

2024年 9月14日(土)～ 11月10日(日)

フィンランドのライフスタイル —暮らしを豊かにするデザイン—

森と湖の国フィンランドはデザイン大国としても知られています。独立を宣言した20世紀初頭以降、独自のデザイン様式を築きタイムレスで合理的なデザインの中にも、ものづくりの根源に自然との調和を重視。どこかユニークであたたかみのあるデザインが世界中の人々を魅了し続けています。

本展では、アルヴァ・アアルト(1898-1976)や、アイノ・アアルト(1894-1949)、イルマリ・タピオヴァーラ(1914-1999)、カイ・フランク(1911-1989)オイバ・トイッカ(1931-2019)、石本藤雄(1941-)をはじめフィンランドが育んだデザイナーたちによる、家具、陶器、ガラス製品、テキスタイルなどを展覧します。また、民族衣装といったフィンランドの手仕事、サウナ文化など、優れたデザインを生み出したフィンランドの暮らしも併せて紹介します。

第1章…TIMELESS～時代を超えて

アルヴァ・アアルトは、美しいうねりや曲線美をプロダクト作品に込め、その妻アイノ・アアルトは、モダンで普遍的な美しい器を作りました。

実用的でシンプルかつ美しいデザインで賞讃され「フィンランド・デザインの良心」と謳われたカイ・フランク、彼の愛弟子でフィンランド初の積み重ね可能な量産ガラス器などに携わったサーラ・ホペア。ティモ・サルパネヴァは芸術と機能性の融合を目指してアートガラスと実用的なガラス製品を数多く手がけ、イルマリ・タピオヴァーラは用に徹したシンプルな名作を世に送り出しました。フィンランドのライフスタイルから生まれたマスターピースが、ここに集います。

第2章…ORGANIC～自然とともに

「フィンランドのレオナルド・ダ・ヴィンチ」と呼ばれた、タピオ・ヴィルカラ。鳥や花などをモチーフにしたアートピースを制作した、ビルゲル・カイピアイン。石本藤雄は融通無碍な発想で四季の事象をテキスタイルに表現し、オイバ・トイッカはユーモアたっぷりの楽しさに満ち溢れたガラスの世界を作り上げました。ヨルマ・ヴェンノラの立体的なエンボス模様が印象的なモミの木のガラス器は世界で絶賛され、美しくもどこかほかないファンタジーの世界をルート・ブリュックはセラミックで作りました。アプローチこそ違えど、どの作家も自らが体感した自然を作品にしています。

第3章…FINLAND and JAPAN～日本におけるフィンランド・デザイン

時代の流れのなかでやむなく廃番になってしまったフィンランド・デザインの名品を復刻、特別注文する「スコープ」。日本人とフィンランド人、二人のクリエイターが立ち上げたテキスタイルブランド「カウニステ」。岩手の工房とフィンランド人のデザイナーをつなぐ「イワテモ」。その取り組みは三者三様ながら、モノ作りに対するリスペクト、愛に満ちています。

第4章…TRADITIONAL LIFESTYLES and HANDICRAFTS～伝統的な手仕事、文化

フィンランドの白樺細工と、竹や蔓を使った日本の民芸品。東北地方のこぎん刺しなどを連想させるフィンランドの織物。サウナとお風呂も、ころとからだか“ととのう”という点では似ています。

手仕事や文化においても、フィンランドと私たちは通じるものがあるのです。



座れる名作椅子コーナー

会期中、フィンランド・デザイン名作の椅子に座って体感できるコーナーが出現します。

※混雑状況により、制限がある場合があります。

※一部、リプロダクトを含みます。

主な展示作品



①



②



③



④



⑤



⑥

①アルヴァ・アアルト《花瓶「サヴォイ」ベース》1937年 / オリジナルデザイン 1936～37年、カルフラ / イッタラ、スコープ蔵、撮影：八田政玄・画像提供：世界文化社

②ビルゲル・カイピアイネン《ウォール・プレート》1960～70年代、アラビア、スコープ蔵、撮影：八田政玄・画像提供：世界文化社

③アルヴァ・アアルト《A331 ペンダント ビーハイヴ》オリジナルデザイン 1953年、アルテック、スコープ蔵、撮影・画像提供：スコープ

④アルヴァ・アアルト《スツール 60》オリジナルデザイン 1933年、アルテック、スコープ、撮影：八田政玄・画像提供：世界文化社

⑤アイノ・アアルト《タンブラー&ショットグラス「ボルゲブリック」》オリジナルデザイン 1932年、カルフラ / イッタラ、スコープ蔵、撮影：八田政玄・画像提供：世界文化社

⑥イルマリ・タビオヴァーラ《ピルッカ・ハイスツール》オリジナルデザイン 1955年、アルテック、スコープ蔵、撮影：八田政玄・画像提供：世界文化社

主な展示作品



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪

⑦ピルタナウハ織と織機一式 2000～2019年、個人蔵、撮影 八田政玄・画像提供 世界文化社

⑧カイ・フランク《皿「キルタ」》オリジナルデザイン 1952年、アラビア、スコープ蔵、撮影：八田政玄・画像提供：世界文化社

⑨白樺細工 2018年、個人蔵、撮影：八田政玄・画像提供：世界文化社

⑩石本藤雄《レリーフ「陶の花」》2013年、アラビア、スコープ蔵、撮影：田島昭・画像提供：キュレクターズ

⑪オイバ・トイッカ《アニュアルバード》1996～2022年、ヌータヤルヴィ/イッタラ、スコープ蔵、撮影：八田政玄・画像提供：世界文化社

開催記念対談「フィンランドの記憶」

フィンランドを代表するテキスタイルブランド・マリメッコで30年以上デザイナーとして活躍された石本藤雄氏と、出品所蔵者で独自の視点でフィンランド・デザインの名作シリーズを復刻・特別注文するブランド「スコープ」の平井千里馬氏がフィンランドの魅力について語り合います。

登壇者：石本藤雄（テキスタイルデザイナー、陶芸家）、平井千里馬（スコープ代表）

日時：2024年10月19日（土曜）

時間：13時00分開場 13時30分～15時30分

場所：神戸ファッション美術館5階 オルビスホール

定員：300人（事前申し込み制・先着順）

参加費：無料（要当日観覧券）

※9月20日（金曜）より、当館HPで募集を開始します。

フィンランドの手仕事ワークショップと展示鑑賞

講師のヘイディさんと展示を鑑賞し、小さな木製の道具「ピルタ」を膝に挟んで織るピルタナウハ織に挑戦しよう。初めての方でも楽しくできます。

講師：ヘイディ・フースコ氏 (heidi.finland)

日時：2024年10月5日（土曜）

集合場所：神戸ファッション美術館1階 エントランスホール

時間：①10時30分～12時00分 ②13時00分～14時30分

定員：各回8人（事前申し込み制・抽選）

参加費：500円（要当日入館券）

※9月6日（金曜）より、当館HPで募集を開始します。

特別展

フィンランドのライフスタイル

—暮らしを豊かにするデザイン—

2024年9月14日（土）～11月10日（日）

開館時間 10:00～18:00（入館は17:30まで）

休館日 月曜日、9月17日（火）、9月24日（火）、
10月15日（火）、11月5日（火）

※9月16日（月・祝）、9月23日（月・祝）、10月14日（月・祝）、
11月5日（月・祝）は開館

観覧料 一般 1,000 (800)円

65歳以上・大学生 500 (400)円

高校生以下無料

※神戸市内在住の65歳以上の方は無料です。

※カコ内は有料入館者30名以上の割引料金です。

※神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入館券（半券）をお持ちの方は割引が受けられます。

主催：神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社

後援：フィンランド大使館、フィンランドセンター、日本フィンランド協会、
サンテレビジョン、ラジオ関西

特別協力：スコープ

協力：アルテック、イッタラ、カウニステ、モノラボン (iwatemo)、世界文化社

企画協力：キュレイターズ

展示協力：大阪樟蔭女子大学

同時開催

ドレスコレクション展

「皇帝ナポレオンとその時代
—革命がもたらした新しい

ファッション」



シュミーズ・ドレス 1800-05 年頃

1789年に起こったフランス革命。歴史の転換点になり、ファッションにおいては過剰な造形や装飾が捨て去られ、自然なスタイルへと急激な変化を見せます。フランス皇帝ナポレオン・ボナパルトによるフランス第一帝政にちなんで「エンパイア・スタイル」と呼ばれるこの時期のファッションを、版画や映像なども含めた数々の収蔵品より紹介します。



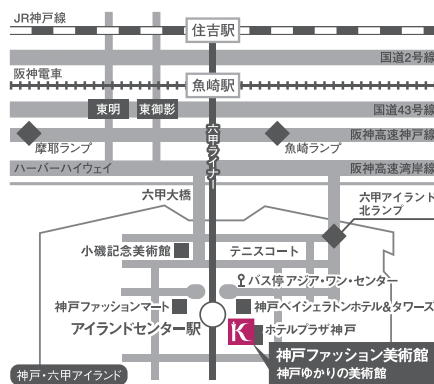
皇帝ナポレオン一世戴冠式の再現（展示風景）

お問い合わせ（広報担当）

TEL: 078-858-0050

FAX: 078-858-0058

Email: press@fashionmuseum.jp



アクセス

▶電車ご利用の場合

JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」で六甲ライナーに乗換、「アイランドセンター駅」下車、南東徒歩3分

▶お車ご利用の場合

阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約10分
阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約2分
三宮からハーバーハイウェイ経由約15分



